令和５年度　岡山県高等学校ＰＴＡ指導者研修会に参加しましたので、ご報告いたします。執行部からは、秋田＆星島で参加しました。

〇趣　　旨　ＰＴＡ活動を通じて青少年の健全育成を図るため、高等学校のＰＴＡ役員を対象に、望ましいＰＴＡ活動の在り方や様々な人権問題についての理解と認識を深めるための研修を行い、指導者としての資質の向上を図る。
〇開催日時　令和５年度１１月２４日(金)
〇開催会場　ピュアリティまきび
〇参 加 者　高等学校ＰＴＡ指導者
　　・ＰＴＡ役員、ＰＴＡ担当者等
〇内　　容【第１部】情報交換・ワークショップ・説明
　　【第２部】「ＬＢＧＴＱ＋の児童生徒の存在を認識した学校での取り組み」
　　講師：宝塚大学看護学部　教授　日高 庸晴　氏

【第１部】
参加者（県内各高校のＰＴＡ役員、担当者、担当先生）が４名ずつグループになり、それぞれの学校の
・ＰＴＡの構成や運営状況
・保護者と教職員との協力状況
・学校支援・地域団体等との連携、協力
等について情報交換を行いました。
（他校のＰＴＡ活動）・毎月あいさつ運動を行っている。
・高校の学科を活かした活動として、電気科のある学校ではイルミネーションの制作公開をしている。
・文化祭ではキッチンカーの出店や近隣商店で「学園マルシェ」を企画し親交を深めている。

ワークショップでは
・生徒のスマホ、ネット利用に関して、困っていることや課題。
・スマホ・ネットの適切な利用のために、ＰＴＡ活動でできることは？
をテーマに話し合いをしました。
（内容）・ルールを決めるのも大切だが、親子間でコミュニケーションをとりながら、うまく利用していきたい。
・学校内はスマホの持ち込みが禁止なのに、部活の連絡がLINEという矛盾を感じる。
・ＰＴＡ活動としては、スマホ・ネット安全教室の講演会の実施等。

【第２部】
Ｌ(Lesbian ﾚｽﾞﾋﾞｱﾝ)、Ｇ(Gay ｹﾞｲ)、Ｂ(Bisexual ﾊﾞｲｾｸｼｬﾙ)、Ｔ(Transgender ﾄﾗﾝｽｼﾞｪﾝﾀﾞｰ)、Ｑ(Questioning ｸｴｽﾁｮﾆﾝｸﾞ)、＋(ﾌﾟﾗｽ)等の性的マイノリティについての児童生徒の存在を認識した学校での取り組みについての講義でした。

アンケート結果を元に児童生徒がどのようなことで悩んでいるか、学校生活の中で困っていること、いじめ被害経験や、親や学校へのカミングアウト等、様々な内容でした。制服の多様性、トイレや更衣室の使用方法等、学校支援の取り組みも行われていますが、まだまだ課題が多いのが現実の様です。このような状況から、いじめ被害、不登校、自傷行為、死に至るケースもあるそうです。
性的マイノリティの理解不足、対応できていない学校もまだ沢山あるようです。周りが当事者の為と行った事が、実は当事者を苦しめる結果になることがあるようで、当事者の気持ち、必要なサポート等を尊重する事の大切さを感じました。
ＰＴＡ役員、保護者等が学校への架け橋となり、児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施、多様性を尊重する環境の整備等、学校に働きかけをお願いしたいとの事でした。

（感想）
今回の講演を受けるまで、生徒が抱える問題、取り巻く環境など、知らない事が沢山ありました。私に何が出来るかわかりませんが、この報告書を見た方には関係のない話ではなく、身近にありえる話と受け止めて頂ければと思います。人はそれぞれ違いがあります、その個性をお互い認め合い尊重し、理解していく事で関係性を築いていくことの重要性を改めて感じました。LGBT に限らず他者を理解することは簡単なことではないですが、相手を知ること、相手の立場になって考える気持ちを持っていたいです。